

「未来に羽ばたけ！」令和2年度卒業式

天候にも恵まれた、3月1日、令和2年度 耐久高等学校第73回卒業式が挙行されました。新型コロナウイルス感染症対策のため、出席者を卒業生と保護者及び教職員のみとし、在校生は送辞を贈る代表生徒1名の参加としました。学校長式辞では、コロナ禍の中、学校再開後の卒業生の落ち着いた行動と強い意志が、後輩たちを良き方向に導いてくれたと感謝の意が述べられ、ドイツの文豪ゲーテの「耐久」という言葉を用いた名言を紹介し、厳しく身を守り、常に耐え抜くことの大切さが示され、今後も人生に夢と希望を抱き、高みを目指し、成長し続けて欲しいと期待が述べられた。在校生代表の送辞では、先輩への感謝とあこがれ、そして惜別の思いが述べられた。卒業生からの答辞では、同期の友人や後輩、先生、そして家族に支えられてきたから、今日、卒業の日を迎えることができたのだと、心から感謝の意が伝えられました。来賓の方々の出席や、祝辞はいただけなかったものの、卒業生の心に残る温かな式典となりました。

3年生を送る会

2月26日、卒業式予行終了後、密をさけるため、1年生、2年生、3年生は、それぞれの教室で、3年生が入学してからの思い出と教職員一人一人からのメッセージが詰まったスライドショーを鑑賞し、中庭に移動しました。予定では、3年生に中庭の芝生に出てもらい、1・2年生が2階、3階の教室、渡り廊下から、3年生を取り囲み、合唱部が歌う、嵐の「Love so sweet」に合わせて手拍子で合奏するはずでした。あいにくの小雨まじりの天候であったので、3年生は1階渡り廊下や、校舎の庇の下に出て後輩たちの贈る合奏でのお祝いを受け取っていました。

久しぶりに全校生徒が一つになり、時間を共有することができました。



